

## 新しい小屋完成

墓地の東側に立派な小屋が再建されました。土生末治さんが中心となって、荒木久男さん海老原泰治さん石塚正男さん飯田喜一さん五木田芳夫さん飯田孝夫さん海老原正美さんが昨年暮れに着工して以来、今年2月4日の竣工にいたるまで一生懸命、建設作業に従事してくださいました。これから再建が待たれる山門の部材や年中行事の備品を保管するための小屋として利用されます。土生さんをはじめ、お手伝いくださいました皆様、本当にありがとうございました。

## 開山忌

今年の開山忌は4月10日土曜日(天樹祭前日)です。日程は左記の通りです。

- 10時30分 水子供養
- 11時00分 子供数珠繰り
- 14時00分 お練り行列
- 14時30分 開山忌法要、散餅・散銭

開山忌は飯沼弘経寺を創建された嘆誉良肇上人を偲び、その御遺徳に感謝する大変大事な法縁です。是非ご参拝ください。

## 同封書類、掲載写真

- 水子供養申込用紙
- 天童稚児申込用紙
- 開山忌回向申込用紙
- 天樹祭日程表
- 護持会費納入願い、振込票
- 大皿、小屋の写真

## 水子供養

大本山増上寺別院弘経寺では開山忌にて左記の通り水子供養を営みます。

当山の水子地蔵菩薩は、極楽浄土へたどり着けずにこの世と彼岸の間をさまよっている水子を救う仏様として信仰されています。水子が無事浄土へ送り届けられるよう、お念仏をお称えして地蔵菩薩にお願いします。

水子のご供養のため、この開山忌の尊い法縁に是非ご参拝ください。

## 記

日時 4月10日(土) 午前10時30分

場所 弘経寺 水子地蔵前

申込 回向申込用紙に必要事項をご記入の上、冥加料(一霊につき二〇〇〇円)を添えて、世話人さんにお願いしていただくか、現金書留にて弘経寺(〒303-0041 常総市

豊岡町甲1 Tel 0297-24-0895) までお送りください。

申込締切日 3月25日

#### 子供数珠練り

本堂にて大きな数珠を輪になって共に練りながら、子供たちの身体健全や学業成就を願って、弘経寺本尊の阿弥陀如来に御祈願をさせていただきます。お子様、御父兄の皆様、どなたでもお気軽にご参加ください。

#### 記

日時 4月10日午前 11時より

会場 弘経寺 本堂

参加費 無料

#### 開山忌「天童稚児」参加のおすすめ

4月11日(土)午後2時30分より開山忌法要が厳修されますが、それに先立ち午後2時に「お練り行列」が大門通りの下馬より本堂に向けて出発します。諸天善神が童のかわいいお稚児に姿を変えてお導師をお守りするという由来から、天の童ということで「天童稚児」がこの行列に加わります。古よりこの役をつとめたお子さんは丈夫に育つとされています。

どうぞこの得難い勝縁を慶び、皆様の幼いお子様方の幸せな無事成長を願って是非お誘い合わせの上、多数ご参加されますようお願いいたします。

#### 記

集合日時 4月10日(土)午後1時

集合場所 飯沼地区集会所

※お練りは午後二時に「下馬」を出発しますが、稚児衣装の着付けがございいますので、午後一時に飯沼地区集会所にお集まりいただきたく存じます。

対象 幼稚園児から小学校低学年程度の年齢

冥加料 六〇〇〇円(貸衣装、お弁当、記念品 記念写真代を含む)

持参品 「兵児帯」または「しごき」をご用意ください。

※衣装(当山用意)を上に着ますので下に着るものは、着物・洋服どちらでもかまいません。なお、着物の方は白足袋・草履をご用意ください。(靴も可)

申込 申込書に必要事項をご記入の上、冥加料を添えて、世話人さんにお願いしてください。または、現金書留にて三月二五日までに左記の送付先へお送りください。

申込書送付先 弘経寺 〒303-0041 常総市豊岡町甲一 Tel 0297-24-0895

天樹祭

今年で常総市千姫まつりは第10回目となります。また、開催日の4月11日は千姫様の誕生日（1597年4月11日）です。記念すべき第10回千姫まつりの日が千姫様の誕生日になるということに、廻り合わせの妙なる縁（えにし）を感じます。

仏教のお経の中に「一切唯心造」という句があります。今年、2010年度の天樹祭はこの「一切唯心造 一私達の存在のすべては私達の思考の結果である」という釈尊の言葉に心を合わせて開催いたします。ご参拝くださる皆様一人一人の想いが天樹祭という形になって弘経寺の歴史に刻まれることを祈りつつ、ご来場を心よりお待ち申し上げております。

#### 開催時期・場所

日程 平成22年4月11日(日)

時間 午前九時～午後五時

場所 弘経寺 常総市豊岡町甲一

#### 主催、後援、協力

◇ 主催：弘経寺、常総市教育委員会

◇ 後援：常総市、常総市観光協会

◇ 協力：水海道まちづくりネットワーク、みつかいどう千姫のれん会、関東鉄道株式会社

#### 護持会総会

1月31日午前11時より弘経寺護持会総会が開催されました。

平成21年度の活動報告、会計報告、平成22年度の活動予定等の議事のなかで、出席者全員が護持会活動の更なるの充実と発展を誓い合いました。総会后、新年会が開かれ、和やかな雰囲気のもと新年をお祝いしました。

#### 清掃当番

4月4日(日)午前八時より清掃作業を行います。当番は飯沼、横曽根地区です。開山忌、天樹祭直前の清掃作業ですので、境内、堂内共にきれいにして、気持ちよく参拝者をお迎えしたく思っています。担当地区の皆様よろしくお願ひ申し上げます。

#### ご寄付をお願いします

開山忌、天樹祭では散餅・散銭の儀を行っています。

毎年有志の方々より、散餅・散銭のためのお餅やお菓子のご寄付をいただいております。今年は例年より多くのお子様にご参加をいただくことが予想されるため、お餅やお

菓子の寄付を広くお願いさせていただいています。皆さまからのご厚志は、開山忌や天樹祭にご参加いただいております子供たちへの温かい思いやりの心として届けられます。お餅やお菓子のご寄付をお申し出くださる方は弘経寺(Tel.0297-24-0895)までご連絡ください。

#### 大本山増上寺別院 弘経寺 開創六百年慶讃大法要

当山弘経寺は1414年、嘆誉良肇上人によって開山されました。よって3年後の平成25年(2013年)には開基以来600年目を迎えることとなります。これを記念して大本山増上寺では別院弘経寺にて「開創六百年慶讃大法要」を奉修することにいたしました。私達がこの600年に一度の勝縁に巡り合えたことは、大変ありがたく幸せなことです。

今年から慶讃大法要が営まれる平成25年までの3年間は、「開山上人のご遺徳を讃えご遺志をついでお念仏の教えを後世に伝える」ことの意味を深く考える上で、大事な時期になろうかと思われまます。記念事業も企画しておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 開創六百年慶讃大法要記念五重相伝

開創六百年慶讃大法要を記念して五重相伝を企画しています。五重相伝とは浄土宗義の精髓奥義を5種に類別して相伝することで、浄土宗の第7祖聖岡上人によって始められました。聖岡上人は嘆誉良肇上人の師であり、また、この五重相伝は関東18檀林のみに限られていたということもあって、紫衣檀林であった当山にて開創六百年を記念して行うことには大きな意味があります。

五重相伝の行は5日間を通して行われますので、成満に達するのは容易ではありませんが、これまでの過ぎ越し方を反省し、信仰的に生まれ変わる貴重な法縁になることは間違いありません。

当山の檀家であればどなたでも入行できます。浄土宗における最も重要な行事の一つですので、100人以上の申し込みがなければ、開くことができません。入行を希望される方はお世話さんか直接弘経寺に五重相伝入行希望の旨をお知らせください。希望者が100名を超えた時点で、参加希望者全員に正式に入行申請書をお渡しいたします。

是非この600年に一度の勝縁、五重相伝をお受けいただきたく、ご案内申し上げます。

#### 増上寺大僧正台下揮毫大皿

この度、大本山増上寺御法主 八木季生大僧正台下より、大皿をご恵贈いただきました。この大皿は金田主管が挽いた大皿に大僧正台下が揮毫してくださったものです。白い皿にやさしくも堂々とした筆致によって揮毫された「大慈悲」のお言葉は、台下の別院弘経寺への御心をそのまま表してくださったようにも受け止められます。

八木大僧正台下からの何よりの心温まるお励ましを頂戴し、有り難く心より感謝申し

上げます。

愛について

信濃なる 千曲の川の さざれ石も

君しふみてば 珠と拾わん

万葉集の中の一詩である。

「河原にあるただの小石も、いとしいあなたが踏んだ石だと思えば、私には珠玉と思えます」とでも意識されようか？今から 1200 年以上も前に詠まれた歌である。

一見無価値に見えるものに価値を見出したり価値を与えたりする、この精神のエネルギーを「愛」と呼ぶのだと、現代に生きる私もこの歌の詠み手の気持ちにそのまま心を重ねることができる。

どんなに時代が変わろうとも、人間の本質としての「愛」は決して変わることはないのだろう。